

議会報告会 記録用紙 兼 報告書

開催年月日：令和4年7月27日（水）

会場名：大門総合会館

参加者数： 48 名

出席議員：山崎議長、中村委員長、高橋副委員長、根木議員、寺岡議員、山本議員、石田議員

【記録者：山本】No 1

議会報告会での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
<p>庄川水系での^{しょうかわ}庄川処理場のようなものは他にもあるのか。</p>	<p>初めての事案と認識している。今回の事案は岐阜で申請されているが、事業者は富山県内の業者である。</p> <p>産業廃棄物処理場は必要との認識があるが、より慎重に判断していただきたい。今回のテーマ設定は、野手処分場のこともあり、市民に環境保全等により関心を持っていただきたいことから設定した。</p>
<p>野手処分場は南側に広がるのか。拡張についてどう考えているか。</p> <p>地図では、野手周辺には他にも多くの最終処分場(産業廃棄物施設)がある。大変な状況に映る。</p>	<p>野手処分場の増設予定地は、既存市有地で新たな土地取得が不要である。</p> <p>野手は南側というか奥に広がる。今年度の予算は、将来に向けた容量等を増やすなど耐久させようとするものである。</p> <p>ご指摘の野手以南の富山市内に、富山環境整備、アイザック等民間の施設が立地しているが、富山市に立地している産業廃棄物処理施設であることから、射水市が直接の指導下にはない。しかし、これまでも水質等適切な情報の報告は受けているが、市民の安心のため、よりしっかりと話を聞く姿勢、監視体制で臨みたい。</p> <p>この類の施設は、とかく行政境に立地しがちである。富山市立地の施設についても、議会としてしっかりとした対応をしていきたいと考えている。</p>

議会報告会での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
<p>在来生物等について開発によって影響を受けている。だからと言って私は開発に反対はしていない。十分な留意が必要である。</p> <p>希少動物（ハクバサンショウウオ、ホクリクサンショウウオ、ミナミアカヒレタビレ）の保護を考え、環境の負荷と最小限の代償法を考えてほしい。議会にはこのような視点を持ってほしい。</p>	<p>ご意見として承る。</p>
<p>野手処分場の排水処理は、埋立て処分場を拡張した場合において大丈夫なのか。</p>	<p>敷地内での処理水を放出することになっている。また、処分場への流入量が能力を超えることがあればバルブを閉めて対応が可能である。基本、処理施設からのオーバーフローはないと考えている。</p> <p>ただし、昨今の豪雨はかつての想定を超えることもあり、ご意見については当局に伝える。</p>
<p>野手埋立処分場は、ゴミの分別により延命策はないのか。</p>	<p>今後ともリサイクルが求められるが、分別の徹底等で延命に簡単につながるとは考えにくい。むしろ、リサイクル等についても、これまでではない新たな取り組みを考えていく必要があるのではないかと考えている。</p> <p>現代は、科学の発展、技術革新が著しい。今後新たな成果が出ることも考えられるものと期待している。</p>